

## 私の留学体験記

広島県立呉宮原高等学校 1年 堀江 哲平 (ほりえ てっぺい)

留学期間 平成30年3月8日～3月21日 (14日間)

留学先 マウントアナンハイスクール (シドニー, オーストラリア)

今回の留学で僕は実際に行ってみないとわからないことをたくさん学ぶことができました。

まずオーストラリアに着いて初めに感じたことは空の違いでした。空気が澄んでいるからなのかとても青く、高い山がないため広く日本で見る空とは大きく違いました。

次に食事です。初日の昼食のハンバーガーは日

本のマクドナルド、モスバーガーで食べるものの2倍くらいの大きさで、山盛りのフライドポテトととにかく量が多かったです。また、お米は日本のジャポニカ米とは違い、パサパサして細長いインディカ米でした。驚いたのは、昼食にときに果物を丸かじりしている生徒が多かったことです。僕もリンゴをホストファミリーにもらい、丸かじりをしました。さらに、果物だけでなくにんじんを生そのまま丸かじりをしている生徒も多かったです。

次に学校についてです。マウントアナンハイスクールは一言でいうと「自由」でした。生徒の身なりはピアスよし、髪染めよし、化粧よしと制服を着ていればよいという感じでした。授業では生徒が先生にバンバン質問し、ほとんど進まない時もありました。特に覚えているのは、数学の先生の口癖の「Work hard, hardly work」という言葉で「頑張るか、頑張らないか」という意味ですが、同じような言葉で意味が逆になるという英語らしい表現だなと思いました。

オーストラリアの人々は多文化社会で複数の人種、民族が共存しているため自己を主張し、相手を尊重できる人がほとんどでした。僕も自分の意見に合わない人は遠ざけ、自分に賛成してくれる人だけと関係を持つのではなく、相手の言葉を真摯に受け止め自分を主張していきたいと思いました。

